

IMH 研修通信

2021年秋号 vol.2

秋がグッと深まりました。冬の足音がそこまで近づいてきています。
皆様、いかがお過ごででしょうか。
当院スタッフも寒さに負けず、
仕事もプライベートも
頑張っています。



よこね田んぼで稲刈り

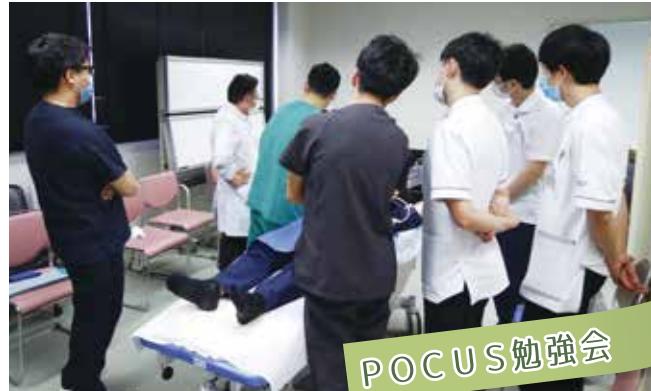


春に田植えをした「よこね田んぼ」で稲刈りをしました。
美味しいお米はやがては美味しいお酒になる予定です。

チームダイナミクス



救急看護師藤田さんと、チームダイナミクスを学びました。
ためらわずにコミュニケーションをとろうとする姿勢が大切だ
と思いました。



POCUS勉強会

救急科坂本先生にPOCUS(point of care ultrasound)勉強会を施行いただきました。実際にエコーをどんどん当ててみて、臨床情報から推測される病態の確認に役立てたいと思いました。
救急外来でもどんどん挑戦してみたいです。



横江先生勉強会

名古屋第2赤十字病院横江正道先生と「頭が痛い」をテーマにオンラインで勉強会を行いました。
頭が痛くならない頭痛の話ををしていただきました。



リハビリのリスク管理について、リハビリテーション科スタッフとグループワークで一緒に考えました。
患者さんの希望や病前のADLを評価しゴールを決めることが大切だと学びました。



薬剤科スタッフに、妊婦の薬と小児の薬の特徴を教えていただきました。
クラリスは、ポカリスエットで飲むとめっちゃ苦かったです。

ただいま〇〇科研修中



手術室だけでなく、病棟でもたくさん指導いただき、楽しく研修できました。

1年目 K 研修医

外科

先生方のご指導のもと、2年目Y研修医と一緒に研修はとても心強く勉強になりました。

1年目 Y研修医

指導医の先生から一言

周術期の管理はどのようにすればいいか？

はい、まず看護指示に

「名前」「PHS」「first call!」と書いて♡

上級医 N 先生



指導医の先生から一言

ERでの急患対応、重症患者の入院管理が主な仕事です。

研修医のみなさんには、今まで培ってきた知識・経験を存分に發揮し、活躍して頂いています。

常に優先順位を考えた行動ができるようになれば、救急科としての研修はOKです。

上級医 K 先生



呼吸器内科

救急科

コロナから終末期の肺癌まで幅広い診療を経験できました。

2年目 Y 研修医

指導医の先生から一言

患者さんの人生的重大局面で登場し、一緒に歩めるというのは臨床医の醍醐味のひとつです。

ぜひとも体験していただきたい。

上級医 N 先生

研修医の足跡ページも見てね

